

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	木簡等の研究資源オープンデータ化を通じた参加誘発型研究スキーム確立による知の展開
研究代表者	馬場 基 (独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所・都城発掘調査部・史料研究室長) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、木簡等の研究資源の蓄積にとどまらず、当該資源のオープンデータ化を推し進め、参加誘発型スキームへの転換を目指しており、時宜にかなったものとなっている。また、IIIF準拠、ビッグデータ解析など新規性も盛り込まれており、学術的意義が十分に認められる。</p> <p>応募者らは、これまでに「木簡データベース」、「木簡字典」等に関する研究成果を公開してきていることから高い研究遂行能力が認められ、本研究が推進されることによって、今後、当該分野における国際標準の確立に大いに寄与するものと期待できる。</p>